



【参考】電子くじについて

電子入札対象案件において、落札予定者となるべき同価の入札をしたものが2人以上あるときは、落札決定を保留した上で、電子くじにより落札予定者及びその次の順位以降の者を決定します。

- ① 入札参加者は、入札時に「くじ番号(3桁)」を入力します。
- ② くじ番号と入札日時の秒(ミリ秒単位の下3桁を使用)の和を「予備番号(3桁)」とします。和が4桁になる場合は、下3桁を使用します。
- ③ 電子くじ対象者を入札書提出順に、「入札順位」を0から振ります。
次の数式で得られた余り(決定くじ番号)と、入札順位の数値が一致した入札者が落札予定者となります。

【数式】 電子くじ対象者の「予備番号」の和 ÷ 対象者数

※ 電子くじ対象者数が3人以上の場合はくじ引きを繰り返し各順位を決定します。

【参考】電子くじの計算例

※電子くじ対象者が3社の場合の計算例(1番目がC建設となる場合)

電子くじ対象者	A建設	B建設	C建設
①くじ番号(入札時に入力)	261	347	077
②入札日時	1月22日13時16分35秒642	1月22日14時26分35秒012	1月22日16時54分10秒962
③入札日時のミリ秒	642	012	962
④予備番号(①+③)	903 (=261+642)	359 (=347+012)	039 (=077+962)
入札順位(②の早い者順)	0	1	2
④の合算	903 + 359 + 039 = 1301		
④の合算÷電子くじ対象者	1301 ÷ 3 = 433 余り 2		
落札予定者	C建設		

※2番目の業者は落札予定者を除いたA建設[0]とB建設[1]の④合算[1262]から、電子くじ対象者数[2]を割った余り[0]でA建設[0]となります。

3番目はB建設となります。

※③入札日時のミリ秒は、下3桁の数値を使用しています。